

「鏡川の景観に関するアンケート」調査結果

平成 29 年度 第 3 回鏡川清流保全審議会 資料
高知市環境政策課+(株)西日本科学技術研究所

■調査の概要

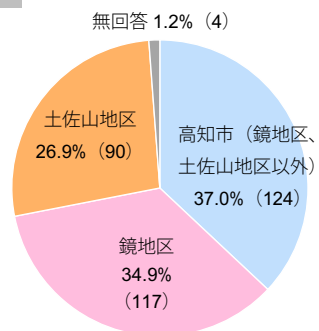
- 調査実施期間：2017 年 11 月 28 日～12 月 22 日
- 調査対象者：高知市住民基本台帳より無作為抽出
- 調査票配布数及び回収の状況

配布地区	配布数(部)	回収数(回収率)
高知市	598	124 (20.7%)
鏡地区	565	117 (20.7%)
土佐山地区	426	90 (21.1%)
無回答	-	4 (-)
合計	1,589	335 (21.1%)

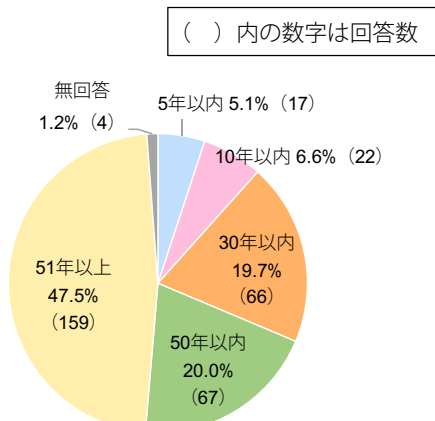
※2017年12月31日現在。宛先不明(9)、受取拒否(1)を除く。

■あなたご自身のことについて

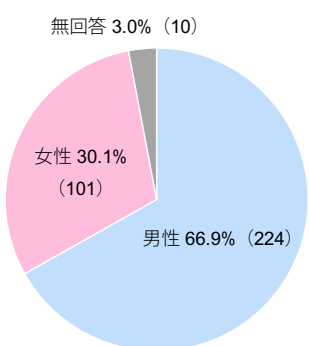
【居住地】



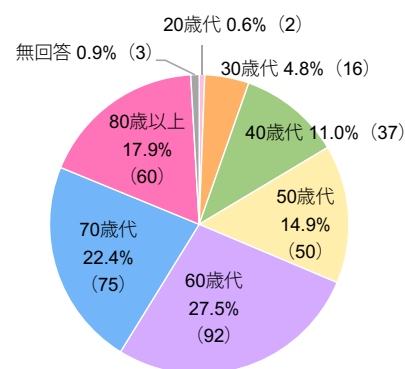
【居住年数】



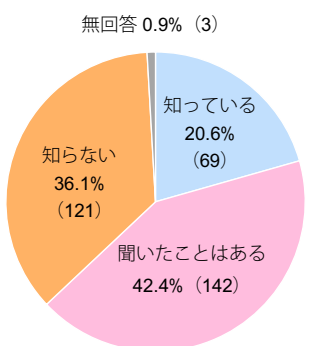
【性別】



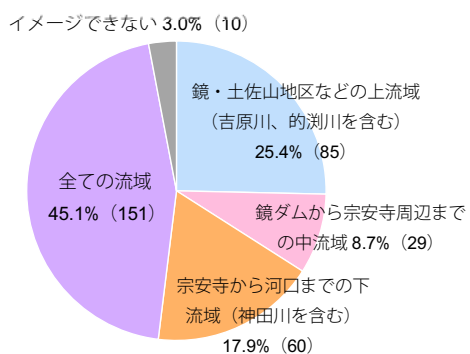
【年代】



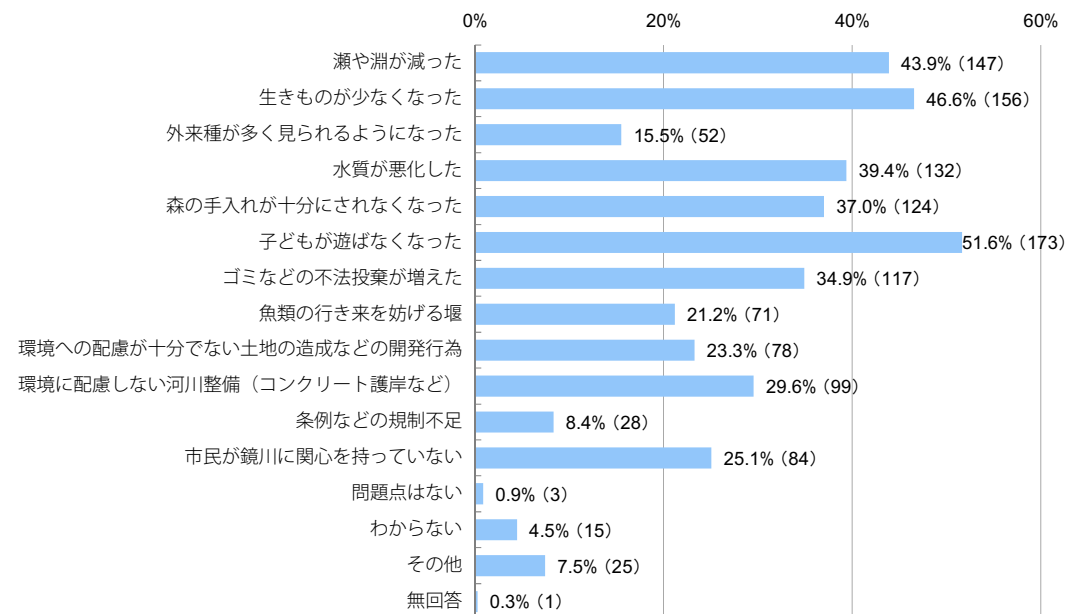
■あなたは鏡川清流保全条例を知っていますか



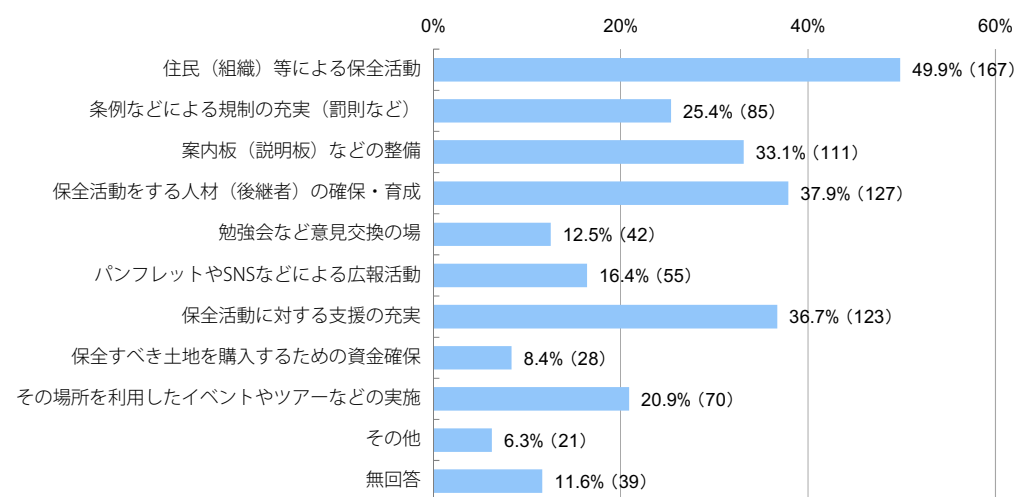
■あなたは「鏡川」と聞いて、どのあたりの場所をイメージしますか



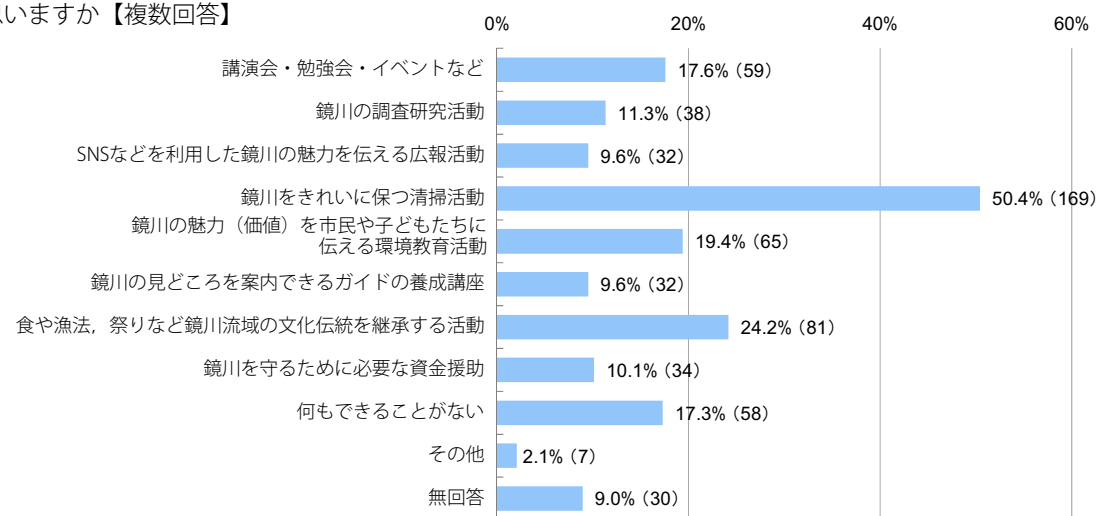
■現在の鏡川及び流域の問題点はどのようなことだと思いますか【複数回答】



■あなたが残したいと思う場所を守っていくためには、どのような取組が必要だと思いますか【複数回答】



■あなたは、鏡川及び流域の自然環境や風景を守っていくために、どのような活動に参加または協力できると思いますか【複数回答】



鏡川及び流域の風景で悪くなっていると感じる場所

【ある 53.7% (180 人) ない 34.3% (115 人)】

●森林・山林 (10 人)

- ・人工林の手入れ不足、整備を (7 人)。
- ・台風 21 号の風による被害が甚大であった。
- ・人口が減り続け、森の整備がされず、山は保水されず、山が崩れ、川は変化していくためコンクリートで固めなければならなくなる悪循環。
- ・手入れ、間伐がほとんどされておらず、大雨の度地すべり、土砂崩れがおき、川へ流れこんでいる。など

●土佐山地区全般 (9 人)

- ・木の手入れがされず伸び放題になり、川に倒れかかっている木や竹がある。水路も木々や落ち葉、ゴミでつまっている
- ・管理が出来てなく、川へ土砂等が入る。
- ・管理されない農地。など

- 源流域 (2 人)：河川の水質に悪影響をおよぼす開発が行われ、水質悪化や濁りを生んでいる。
- 農地 (3 人)：農地の放棄地多く、棚田が荒地。

●上流域 (35 人)

- ・台風等により護岸がくずれ放置されている。雑木や周辺の倒木等がそのままになっている (8 人)。
- ・道路から川に面した箇所が雑木や休耕地が多く管理されてなくて美しい川が見通せない。景観が悪い (5 人)。
- ・草が生えて川へくぐる道が分からなくなっている (4 人)。
- ・ゴミの不法投棄があり、河川を汚す (3 人)
- ・砂防堰堤が出来てコンクリートで高く固められ、魚が上流へ移動出来ない状態の所がある。
- ・杉、ひのき、雑木が川や谷川を覆い、水生昆虫や魚が減った。ホタルもいなくなった。など

- 的淵、的淵川 (3 人)：台風で山が倒木だらけになり景観が悪い。

- 吉原川及び流域 (4 人)：両岸の雑木が大きくなって川が見えなくなった

- 樽の滝：杉の木が大きくなって手前から滝が見えなくなり、人もこなくなって地元のものとしてはさびしい。

- 鏡地区全般：ダムができたため。

- 鏡大利 (ダム周辺) (2 人)：周囲の木が伸び過ぎてせっかくのダム湖の景色がよく見えなくなっている。

- 鏡小浜 (3 人)：川で人の姿を見ることはほとんどない。
- 城ノ平 (3 人)：15 年前に河川管理道ができて鏡川により近くなった分、まわりに人家もないため、ゴミなどの不法投棄が道路下、河川に多くなってきた。

- 鏡梅ノ木地区：コンクリートの 3 面ばかりで良くない。

- 行川川 (4 人)：乱開発により洪水時大量の濁流が本流に流れ込み、土砂が堆積しそれにアシが蔓延して川原が無くなっている。

- 鏡今井、長崎：川鵜による糞害。
- 川口周辺 (2 人)：子供の遊ぶ場所がない。

- ダム (15 人)：大雨の後ダムに流れ込んだゴミの山、日数がたてばきれいになるがなるべく早く処理してほしい (5 人)。
：ダム湖に浮いているゴミ、流木等を見る人の気持ちが落ち込む。
：台風や洪水時に上流からの石の供給がないため砂利や小石になっている。20 年前は人頭大以上の石があり、鮎にとってよい環境であった。など

●全流域 (29 人)

- ・ゴミの不法投棄、スーパー等のゴミ袋やビニール類が大雨のあと流されずに川べりの樹木にひっかかっている見苦しい (5 人)。
- ・河川工事や道路拡張工事に伴い、護岸がコンクリートで固められ、景観が悪くなっている。
- ・鏡川水系の河床形態を示すものとして、昭和 38 年の形態図では名のある淵 109、名のある瀬 57 があるが、今では平面化が進み殺風景となっている。川の資源や鳥類の減少により、流域住民と鏡川との交わりが少なくなっている。
- ・荒廃農地が多く見られる様になった。
- ・自然工法を取り入れて整備すべきであった (コンクリートやコンクリートブロックでの復旧は自然へ返す事は困難である)。など

●中流域 (12 人)

- ・土砂が多く溜まり魚の生命のサイクルが保てていない。
- ・河川両岸の樹木が大きくなり、川が見えにくい。魚釣りも糸が木にかかり、ゆっくり楽しむ釣りができない。川へ通じる小道も草木がしげり通ることが困難となる。ダム下流域の水質の悪化。川床への泥の堆積。
- ・奥地の山くずれで淵と瀬が極端に変化した。淵あり瀬ありの変化にとんだ昔の清流がない。など

●中・下流域 (9 人)

- ・アシが生え、河床が極端に低下し瀬が少なくなっている。
- ・川に河原がなくなった。川にアシが茂って川の風景なし。堰にゴミがたくさんかかっている。
- ・ダムから流れる水は高い水温の汚れた水が流れており、汚濁しているのが残念。など

●下流域 (31 人)

- ・護岸工事で人工的な川になっている。コンクリートで固められて、殺風景な感じがする (10 人)。
- ・アシとか雑草が生えて川原が少なくなった。ゴミが多い (12 人)。
- ・水の量が少なく川ではないように思う。
- ・中州が目立ち風景が良くない。
- ・朝倉堰から下流にいくつか堰があるがさかなの身になった魚道になっていない。など

- 大河内、尾立 (11 人)：以前は小石だけの河原であったが、流れがゆるやかになったのか砂が池にたまりそこに雑草、アシ類等が生えている。今や河原の半分程を雑草がしめている (8 人)。
：夏場はゴミが大量に捨てられている (3 人)。など

- JR 鉄橋付近 (4 人)：コンクリート護岸になってしまった。
：昔は子供たちが泳いでいた。

- 新月橋、月の瀬橋：中州あたりのすすき、かや、草など背丈が高く危険だと思し景観もよくない。

- 本宮辺り：ゴミがたまっている。
- 堰 (2 人)：転倒堰は鏡川を分断し、魚道不完全で、魚族の上下流への往来の大きな阻害となっている。1 年でも早く改善すべきである。

- 天神橋周辺：使われていないボートと小屋がボロボロになったまま放置されている。
- 競輪場の前：コンクリートで固められて、殺風景。

- 丸山台：人工物の島になってしまった (昔は自然の基地として遊んだ)。
- 汽水域：生物の多様性の低下。

- 九反田橋から大橋：護岸にたくさんの植物が生え、それにゴミが漂着するようになった。工事後、生きものが変わった。テナガエビが減少し、変な貝が増えた。

残していきたい鏡川及び流域の場所

【回答率 50.4% (169 人)】

●キャンプ地 (上流) (2 人)

- ：キャンプに多くの人利用しているが、公の便所が少ないので時季によりレンタルトイレを確保しては！(衛生対策にもつながる)
- 滝：鏡川流域には四季を通じて素敵な滝がある。

- 的漕川流域 (5 人)：清流で自然が多くて子供の水遊びにとっても適しているためそのまま続してほしい。
：崩壊等により悪くはなっているが、ホタルの生存や淵等もあり山の手入で全体を残してほしい。など

●鏡坂口の茶畑と棚田 (3 人)

- ：お茶や田んぼの作り手が高齢になっても荒らすことなく、美しい茶畑と棚田のままであってほしい。

●平家の滝周辺 (3 人)

- ：四季折々の風景が美しい。滝つぼまで行けて、迫力を味わえる。

- 川口から狩山方面の川岸の森林
：タブノキ、コジイ、アラカシ等の河岸の森林が比較的によく残っていて、森林性の昆虫も比較的に残っている。

- 畑川橋周辺 (5 人)：特に夏場、水泳、キャンプなどでにぎわう。
：水がとてきれいな。など

- 鏡小浜、川口橋周辺 (6 人)：護岸工事が少なく両岸に砂の川原や岩場が多く残っているから。
：夏場は子供や家族づれでにぎわうから。など

- 城ノ平周辺 (3 人)：下流から鮎が遡上し、鏡ダムからのにごりに左右されない安心して食べられる環境にできればよいと思う。
：景色の散歩に良い。など

- 宗安寺の河原 (26 人)：キャンプ、バーベキューなど若者、学生、家族づれで憩いの場所だから。
：まだ十分な自然が残っている。そのままの状態を維持してほしい。など

●中流域 (5 人)

- ・瀬や淵があり、野鳥も住んでいて、川の自然な流れが残っている。周辺の田んぼの畦などに彼岸花が見事に咲いている。など

●宗安寺～下流域 (3 人)

- ・冬になると渡り鳥が飛来し、ゆっくりのんびり川面に浮かんでいる姿を見ると平和を感じる。

- 河内神社の周辺：お年寄りには木陰もあってゆっくり休める。
- 昔松の下とっていた所の西側の河原が市民の憩いの場所として夏は水泳場、焼肉等、レジャーの場として利用されている場所付近
- 川と親しめる所

●鏡地区、土佐山地区 (全般) (7 人)

- ・自然状態に近い形で川と岸が残っている。
- ・清らかな水ときれいな川原環境が市民の水に親しむ行動を育み、河川環境保護への意識を育てる。
- ・四季を問わず来る価値あり。など

- 吉原川流域及び周辺 (5 人)
：子供たちや家族づれで遊びやすく交通の便も良い。
：石灰岩に雑木での紅葉、植林せず川とともに残してほしい。など

- 東川川：子供の頃一日中この流域で遊んで楽しい記憶が残っているため。

- 樽の滝：世に出したい。空気おいしい。

- 穴川川：ホタルがいる。

- オーベルジュ周辺及び棚田 (3 人)
：地区の住民が四季を通じていろいろ活動をしている。

- 弘瀬周辺及び弘瀬橋下 (2 人)
：景色がいい。

- 鏡ダム周辺 (5 人)：春には桜まつりが開かれ、桜が美しい。野鳥も多い。少量の水を横から放流する時、虹が見えるときがある。など

- 大河内周辺 (3 人)：川遊びができる良い場所。

- 鏡川橋周辺及び風景 (2 人)
：アユやアメゴ等の川魚が泳いでいる姿が見られる。
- 蛭橋周辺：水遊びする風景が見たい。

●下流域 (2 人)

- ・景観は多少損なっても、治水(さらに)津波に備えてほしい。
- ・魚が多い。

- 紅葉橋周辺及び天神大橋までの川辺の道 (6 人)
：川をながめながら歩ける遊歩道。
：市民の憩いの場として貴重。など

- 月の瀬橋から潮江橋
：夏場は子どもたちや家族づれでにぎわい、鏡川らしい風景だと思うから。

- 高知市内の橋から見える鏡川
：川の水が流れる風景にしたい。

- 源流域 (7 人)：川の健康は源流の地域を見たらわかる。
：清流の源、ホタル飛ぶ風景。
：管理された棚田や里山。など

- 工石山周辺 (自然) (6 人)：水源地のひとつのさいの河原、自生するシャクナゲや原生林等、市民の森としての価値を将来にわたりアピールするとともに守らなければならない自然である。など

- 高川川及び高川峡谷 (2 人)
：四季を通して谷と水、山の移り変わりは大変すばらしい。

- 桑尾周辺：鏡川にかかる唯一のつり橋。

- 大穴峡 (2 人)：景色がいい。家族づれで賑わう。

- 重倉川セメント入口～梶谷川合流
：子供の時は泳げる淵が何ヶ所があり、水量も多かった。

- 日ノ浦トンネル南入口付近の桜やもみじ
：山桜やもみじの群生場所で、近年地主さんが他樹木を伐採し景観がよい。

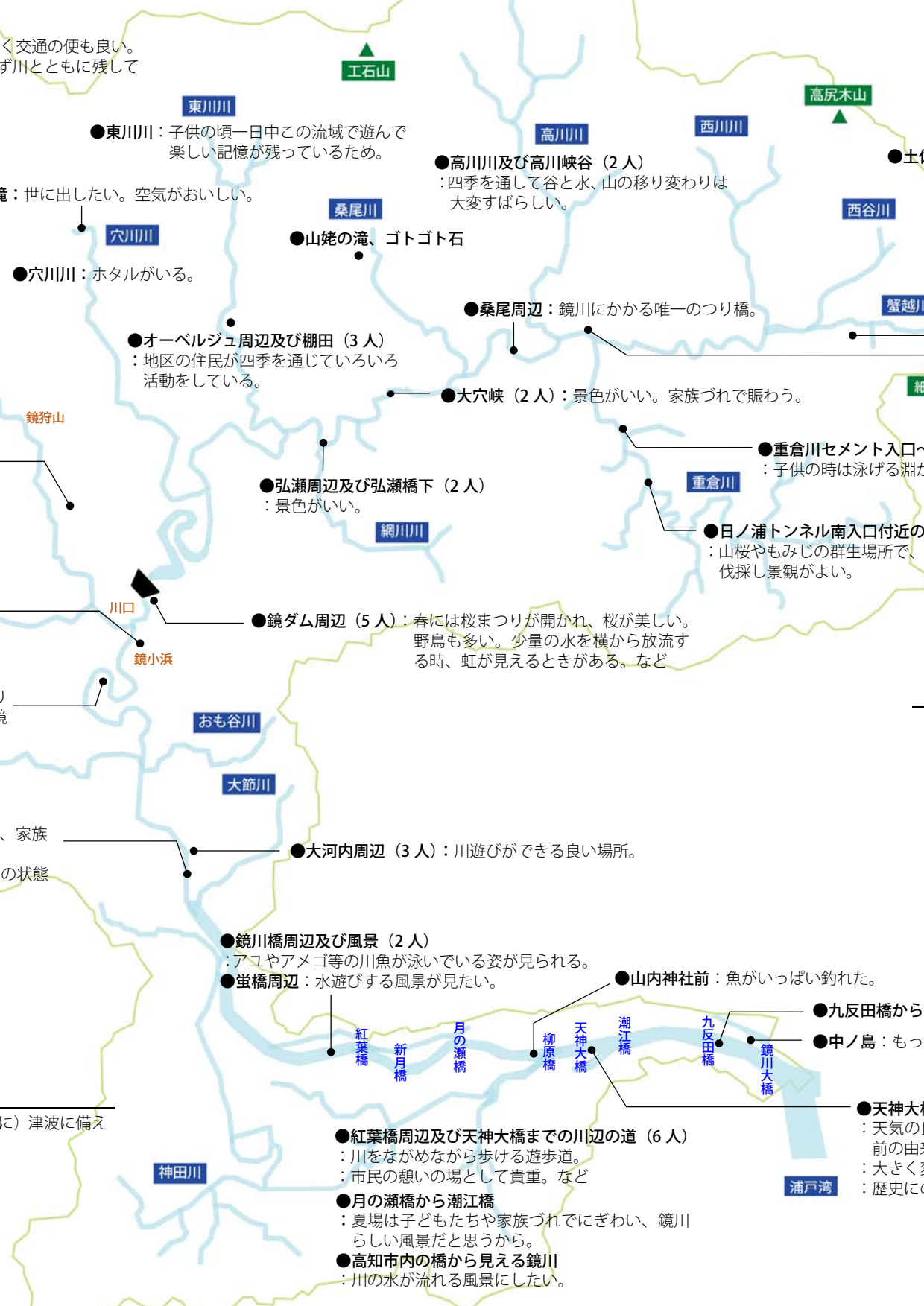
●全流域 (36 人)

- ・高知市民にとって水量豊かな川、心のよりどころ。
- ・四季を通じて市民の心のよりどころとなるような、各々の良さを保存しながら改修すべき箇所は改修し、市民が安心して利用できるような水のきれいな川に。
- ・将来にわたって残したいというよりも、今のような鏡川なら残してほしい。まず昔のような自然を取り戻すところから始めないと現状維持すら容易ではない。
- ・高知の風景の中心。清流というイメージを守り育てる必要を常に感じている。など

- 九反田橋から下流：生きものがたくさんいる干潟そのもの。

- 中ノ島：もっと活用してほしい。

- 天神大橋周辺 (14 人)
：天気の良い日には筆山が筆型に水面に写る鏡川の名前の由来にもなった場所だから。
：大きく変わっていない風景が心を落ち着かせる。
：歴史にのこる場所も近くに多々あるから。など



「鏡川」と聞いてイメージするもの・こと【回答率 74.3% (249人)】

	良 ←	イメージ	→ 悪	
水や川そのもの	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい、きれい (48人) ・清流、清らか (43人) ・鏡のよう、透明、澄んだ (24人) ・自分の幼少期、子供や孫の親しんだ川であり、生活にも欠かせない川 ・自分が子供の頃からなれたしんだ川 ・子どもの頃の思い出と共に美しい川 ・字のごとく「鏡」のような川 ・鏡のように太陽の光りを反射して輝いている、そしておだやか。 ・透明感のある流水 ・源流は鏡のごとし自慢のできる水 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の頃の思い出、よく遊んだ (28人) ・水源 (11人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・鏡ダム (12人) ・市街地、中心部を流れる川 (9人) ・治水が出来ており、そこそこの台風や大雨に耐える川 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムができて清流とはいえなくなった (16人) ・昔は清流だった (11人) ・汚い、濁り (10人) ・汚水が流入する汚い川。 ・水量が少なくなった。川に入っている人を見た事がない。 ・鏡ダムが出来るまでは、アユは腹ワタがおいしかった。現在は、川が濁り淵もなくなり最低の川。 ・ダムを含めて6ヶ所の堰。水滞ればよどみを生ずる。 ・昔は名の通り鏡の様な川だったが、今は大きなミゾゴ。 ・清流でなくため池。 ・川が深くすぐ川に下りられない。 ・昔のきれいな川がなくなって悲しい。 ・昔の様に水のきれいな川であってほしい。
生きものに関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・高川川の源流点のさいの河原に住むサンショウウオ。 ・小魚 (川エビ、カニ、ウナギ、フナ等) たくさん住んでいる川。 ・上流域で水遊びする時小魚等見ることができる。アユ、ツガニがおいしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アユ (49人) ・魚 (26人) ・ウナギ (12人) ・ツガニ (9人) ・アメゴ (7人) ・コイ、シジミ、ゴリ、カワセミ、エビ、カジカガエル、ホタル、アオノリ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・アユ、アメゴ、ウナギなどが良くとれた川 (土佐山側) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムが出来てからは生物がいなくなり、川を見ても2~3種類の魚しかいない。 ・護岸改修により魚の生息しにくいイメージ。 ・今は外来種のカヤのような草が生えている。 ・川水は汚れ、孫達が来ても魚とりも許可制で少し窮屈 (私達の鏡川なのに…) ・ウナギやツガニが少なくなった。 ・土佐山地区でホタルを見ない。 ・ヨシが川の3分の2位に多くなって川幅が狭くなり大雨の時に水位が上がる。 ・鏡ダムでウナギが上ってこなくなった。
景観や心象風景	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊富 (12人) ・緑、新緑 (4人) ・春は谷川に新緑、秋は紅葉、夏はホタル飛び交う水辺 ・上流域では、川原にクレソン、フキ、土手にはイタドリ、四季折々の季節が感じられ素晴らしい。 ・山々の木々、緑や空の色が川面に映り込み清い流れ。 ・朝日も夕日も川に写りきれい。 ・工石山の雄大な自然 ・子供の頃から常に生活のそばにある最も身近な自然 (周辺の山、田んぼ、石垣などを含め) 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆山 (5人) ・子供の頃から、筆山が川に写って筆の形になるということを知って育った。 ・樽の滝 ・平家の滝 ・工石山、雪光山-水源地付近に高い山 ・整備された緑地が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上流に滝があり、きれいであるが、観光地とあまり知られていない。特に県外に向けて発信してほしい。 ・もみじ橋 (がん切り橋) は木の橋で台風が来ると流れた。 ・橋の上から夏は子供達が飛び込んだりしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷にゴミ等が放置されている (3人) ・流域の田園地帯が開発され、新興住宅地帯となり、たびたび水害に見舞われ、甚大な被害に見舞われたことを思い出す。 ・草が一杯で (たとえば岩ヶ淵、尾立) 景色がとてつもない。川底にコケがいっぱい。 ・山が荒れている。植林の手入れの出来ていない部分が多い。上・中流の谷が荒れている。人が居ない。 ・マンションがそびえ建つ現在は少しずつ鏡川への愛着が薄れる様に感じる。 ・鏡川橋から下流の歩道には犬のフンがいっぱい。
イベント・遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・清流と野鳥に出会い、色々の事を考えながら散歩するのが日課で楽しみ。 ・地域住民にとって、なくてはならない川。散歩する人の心を癒やし、夏は水泳、アユ釣りを思い浮かべる。 ・ウォーキングに適した堤 	<ul style="list-style-type: none"> ・川遊び・水遊び・水泳 (43人) ・魚釣り、捕り (13人) ・花火大会 (11人) ・祭り (7人) ・散歩、ウォーキング (6人) ・キャンプ (5人) ・ボート (5人) ・遊具が少ない広い公園 (河川敷) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校、高校時代にキャンプに行った鏡ダム周辺。 ・貸しボートは青春の思い出。 ・高知市で数少ない水泳のできる川 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳、キャンプに来る方々の道路のマナーが悪い。 ・水の事故が多いようなイメージ。 ・昔は、岸は草原で木影もあり、親子で楽しく泳いだり、川遊びをしたりした。今は殺風景でさびしい。 ・上流に行けば泳げるが道から川まで下りられるポイントが少ない。
全体的なイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・高知市のシンボル (5人) ・高知市の水瓶 (6人) ・憩いの場所 (4人) ・文化、生活を支える貴重な川 ・土佐山…夏、川遊びをする子ども達、鏡…人っ気のない所をゆったりと流れる川 ・自然環境の指標の一つ。様々な人が関わり合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・龍馬が泳いだ川 (11人) ・生活の一部 (9人) ・生まれ育ったところ (8人) ・生まれ育った川。人以上に愛着心がある。 ・維新志士たちがなれた親しんだ土地のイメージ ・浦戸湾-河口に湾を有している。 ・南国博覧会の時の南国橋 (木造)。鏡川を渡るケーブルカー 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の川、当たり前にあった川 (8人) ・生まれた時からいつもそばにある川 ・これまで生きてきた中で当たり前にあったもの。 	

注) () 内の人数は、類似したものや関連したイメージをまとめた人数である。

自由意見（抜粋）

【旧高知市】

- 1) 高層マンションはこれ以上不要。景観を著しく損ねる。これでは全国どこにでもある只の一般河川と何が変わりなくなっている。
- 2) 父が毎日アユ釣りし、自分が一年中遊んだ川。子育てを豊かなものにしてくれ工石山から浦戸湾まで子供と共に生物や植物、食物を学び、体を作ってくれたのが鏡川。多くの市民が同様に楽しんでいる姿が見られ、生活の場でもあり、自然と一体となり生命が次に伝えられる実感が持てる大事な場所。大事に保ち、使い、身近な風景が生活の場として残せる様、市民として協力したいと思います。
- 3) 三翠園の前から河口をくだり、カヌーに乗りました。川の中から見る周辺の景色も大変よかったですし、川の水もきれいですきとおっていました。鏡川がこんなにステキは川だとは知りませんでした。
- 4) 20〜30年前からしたら川の水がきれいになったと感じます。柳原橋から下を見たら魚が泳いでいるのが見えて癒やされます。
- 5) 源流、宗安寺周辺を歩いてその風景を知っています。下流域に暮らして、その源流を知ることは意義のあることでした。川に感謝しています。が、又、子供の頃泳いだ鏡川が心よりなつかしい今日この頃です。
- 6) 高知には台風が自然を流すようなことが近年少ないので九州や東北の方のことを思うと本当にしっかり山を守って自然を残してほしいと思います。
- 7) 上流、中流域の自然はこれまで通り保全していく事は大切であると思うが、特に下流域についてはあまり観光地としての魅力が無すぎる。特に高知市は維新志士もので観光 PR を行っているのに、坂本竜馬生家周辺の下流域の整備は十分に行うべきである。自治体レベルだけで行うのではなく、企業とコラボレーションする形で開発するのも可能ならば良いのではないだろうか。
- 8) 鮎、アメゴ漁をするが、河川に魅力がなく遊漁券を買った事がない。他の川に行く。風景ではないが、夏場「宗安寺橋」から飛び込み遊泳している中高生が見られる。幅員が狭くて、通行車両が大変迷惑している。もう少し学校等に働きかけてほしい。
- 9) 市街地から比較的近いところに自然が残っていることをもっとたくさんの方に知ってほしい。自分が経験した川で遊ぶことを子供たちにもっと体験してほしい。鏡川は資源の豊富な川です。もっとその魅力を発信すべきだと思います。
- 10) 川の工事を行うのも大切だけれど、山の保水力を高めるため、人工林から雑木が多い元の山の姿にしていくことが大切。それに対して行政の補助を出して推進してもよい。住民に対しても PR すべきだ。
- 11) 廓中、鏡川、江ノ口鴨田堰を廃止して朝倉堰に統合する事により本来の姿に近い新しい風景をつくり出す。
- 12) 街の中を流れる川の流域では活動も活発となるのですが、山間地域では人口が減っているため、守ることすらできていないし、山も川周辺が荒れるばかり。景観も何もないです。大人ですら荒れて近寄れない。上流の源流域を守らなければ、下流域の発展もないのではないですか。県、市が目標としている対策とは何ですか？人口が減って上流域の文化も失っていき、閉ざされた山、川になっていくような気がしてたまらない。県道の整備をして流通、交通、通信整備をして下さい。その上での教育やイベントありきです。
- 13) 11月に行われていた鏡川周辺のウォーキングがなくなっている。やってほしいです。
- 14) 柳原橋が昔沈下橋だった頃、大雨のたびに橋のたもとの小屋は流れ、桑畑は水に漬かっていた。今でもみどりの広場は大雨のたびに水浸しになっている。遊水地の役割をしているのであろう。水が引けば、また憩いの場になっている。場所によって水の営みと治水の教材が垣間見られ、なおさら原風景の保全が求められる。
- 15) 川の近くに住んでいるわけではないので鏡川について考えたことはなかった。このアンケートを見て意識してみたいと思いました。
- 16) 中・下流域はネコヤナギ主体の浅い河岸。上〜中流域は現在も残されているアラカシ、コジイ、タブ、クスノキ等の群生を中心とした高木〜低木林を今後も残すべきこと。朝倉駅北方の鏡川岸にあったオニグルミの林を再生して頂けたらありがたいです。
- 17) かるぼーと前から〜桂浜（龍馬銅像前）の観光船コースを復活して欲しい。丸山台では不便。河口から上流へ向かって観光船（小さくても良い）が行く様に出来ませんか？

【鏡地区】

- 1) 鏡ダムが出来て、小浜地区は一番の悪影響を受けた。旧の高知市民は水の確保ができて良いが、上流の住民のことは無関心である。
- 2) 通勤途中で小学生が描いたポスターが掲示されているのを見て心が落ちついていました。1〜2ヶ月で交換されていました。毎日うれしい思いをして通っていました。いい取組みだと思います。
- 3) 自然（天然）の川に対しては子供でも興味を持つ。小生の孫も今から夏になるのを待ちかねている（東京に住んでいる）。鏡川の再復旧を研究、検討してくれませんか。コンクリート等の人工物を再整備するくらいは気概がないといくらアンケートをとってもなにもしないといっしょだよ！アンケート代がムダ。
- 4) 市政による上流域への財政支援を期待。過疎化により、地域の維持保全ができなくなっている。旧高知市民は上流域にもっと関心をもって流域を守る地域市民に支援を！
- 5) 川のすぐそばで生活をしていると、川の状態で季節の移りかわりを感じたり、漁の時期には旬の川の幸を楽しむこともできるなど、五感をフルに使って生活しているように思います。あまりにも近くにありすぎて、川について考えることもなかったのですが、アンケートのおかげで、大きな存在であることを再確認できました。

- 6) 河川工事の際には、自然景観をいかしたものを心がけていただきたい。川の源である山林の保全にも力を入れていく必要があると考えます。
- 7) 本気で風景を守るのであれば、それなりの資金投入が必要ではないか。
- 8) いつまでも守る（保全すること）。災害があっても近自然河川工法で修復すること。
- 9) 焼野の森、雪光山にはまだ行ったことがありませんが、平家の滝、ダム湖周辺、樽の滝、新宮の森等、道中カメラ片手に散策してもすばらしい景色もとれたりして、自然の豊かさに満足です。保全努力に携わっている関係者の皆様方には感謝です。
- 10) 鏡川及び鏡川周辺の工事事業や農業などに高知市環境から指導や調査などを行ってもらいたいです。
- 11) 条例制定に伴い上流域での活動に制限がかかり作業ができない。我々にとって鏡川は遊びの場ではない仕事をする場所である。
- 12) 吉原川に住んでいて、明神の滝をはじめ、雪光山等の風景は素晴らしい。2億5千万年前、地震でできた断層も見ることが出来る。
- 13) 中山間地域の急速な人口減少、小、中学生を始めとする子供達の急速な減少等、かつての鏡川の自然の賑わいが失われている様に思う。宗安寺の河原等、特定の地域には名残りをとどめているが、魚族の多様性、住民との交流から考えると、鏡川はかつての姿とは大きく異なっている。
- 14) 鏡、穴川の滝から流れる清らかなお水。なくてはならないおいしい水、守っていききたい。
- 15) 鏡ダムに魚が遡行できる魚道バイパスがあれば良い。ダム下の大利側の谷は川と寸断されており、魚の遡上が出来ない。
- 16) 私達の地区では年2回、公民館、河内神社の周辺の環境整備をしています。今は私も住民（組織）等による保全活動が大事と思いますが、いつまでできるかわかりません。できるうちはつづけるつもりです。
- 17) 現在住んでいる地域の将来性について。20年ぐらい前に札幌ノ下橋から城ノ平の間で公園の構想があったらしいのですが、当時の高知国体整備事業とからめて、道路、橋まではできています。公園ができれば水道、電気の管理、トイレの施設管理等（周辺に人家がない）人が集まる分、ゴミ等を地域の住民が全てをやることは大変です。今のままで十分なのですが、自分は鮎釣りもしているのに、トイレが近くにあればと思います（河川の洪水時に断面阻害とならない高さの土地に）。人が集まるとゴミ等の問題はありますが、自然環境に少しでも関心をもってもらえればと思います。
- 18) 鏡ダムの耐用年数が過ぎたらどうするのか。今後の方針なりがあれば何かの機会に発表できないでしょうか。

【土佐山地区】

- 1) 高齢化等により、草刈りが難しくなり、除草剤を使う方が増えています。また、除草や木の手入れができず、荒れたままになっている所が増えているように思います。草刈りや山の管理はどう変えていくのが良いでしょうか。川や風景を保つためにその周辺の維持・管理の仕方について、いい方法を示していただけるとありがたいです。
- 2) 毎月発行している「広報あかるいまち」に鏡川コーナーを設けて市民に周知。
- 3) 土木の石積を永年してきました。川の工事など最近では砂、石など使用されなくなって残念です。古い工法も思い出して美しい鏡川にして下さい。
- 4) 要所に降りて行ける道の整備をしていただければ地区外の方も気軽に河川敷でくつろぐ事が出来る。
- 5) 子供の頃から言えば、周辺の田んぼが減り、雑木林が植林に変わり、山の保水能力がいちじるしくおちている。このため、大雨が降るたびに河床の形は変わり、護岸が破壊されている。
- 6) 春には網川トンネル手前の川沿いにふじの花が咲きます。とても美しい景色だと思って通ります。オーベルジュの下で北側の直路から下を見た紅葉と川の岩の景色は絶品です。
- 7) 高川地区高川川にキャンプ場があり工石山の湧き水が起点の流水は清冽そのもの。そのまま飲料に供することが可能でもある。流域は緑、紅葉、黄葉が四季を通じて観察できるが生憎、県道から水辺が遠くて残念である。土佐山中山間で川辺の風情は身体を癒すことになるであろう。
- 8) 源流域の開発による水の汚濁や水質の悪化、又、豪雨による土砂の流入による淵や瀬の減少など、河川や生物の保全には厳しい現状が続いている。だからこそ、積極的な保全対策がのぞまれる。
- 9) 川の奥（支流）からきれいにする運動をしなければならない。水の流れがよくなり、きれいになれば、道路からのポイ捨てもなくなるだろう。一番の願いは乱開発の禁止です。条例も必要ですが、人は必ずぬけ穴を探してきます。罰則と罰金をきちんと整備すればなくなります。川がきれいになって行けば自然と関心をもつようになります。
- 10) 台風で山が崩れて木が川に横たわり、持主が木を切ってもっと手入れせんといかんとする。梶谷橋から南川からの川が、前はきれいだったけど、日ノ浦に家の集落が出来てから、水がとっても汚くてアユもあの川のアユは臭いとか、なんでもたれながしとか聞きます。一人一人の心がけが大切だと思います。私達も気を付けますがよろしくお願い致します。
- 11) 行政がもう少し保全活動にお金を支出する必要があると思います。行政は本気ですか。住民に姿が見えていますか。地域を巻き込んで下さい！
- 12) 農地の荒廃に伴い山林化した土地や開発に伴い山肌がさらけ出された山林が目立つ。また、水質の悪化が重倉川では著しい。自然環境保全区域を拡大し、流域の風景を守る事は大賛成であるが、絵に書いた餅にならない様、実効性のあるものにしていただきたい。「三尺流れて水清し」のことわざの様に、豊富で清らかな水の流れは上流から下流の誰もが心とします。市民のシンボルとしての鏡川をいつまでも大切にしたいものです。